

第2節

阪神・淡路大震災による 阪神基地隊等の復旧への取組

(平成7年1月17日)

....Outline....

平成7年1月17日午前5時46分頃、淡路島北部を震源とする極めて強い地震（兵庫県南部地震、いわゆる阪神・淡路大震災）が発生した。

震災発生直後から、防衛施設庁は、大阪防衛施設局を中心として関係職員一丸となり、睡眠時間がほとんどとれない極限状態において阪神基地隊をはじめとする自衛隊施設の被害復旧のための業務に全力を挙げ、震災直後における都市機能が完全に麻痺した状態の中、短期間で復旧工事を行った。

● 阪神・淡路大震災の発生とその被害状況

平成7年1月17日午前5時46分頃、淡路島北部を震源（北緯34度36分、東経135度2分、深さ16km）とするマグニチュード7.2の極めて強い地震が発生した。気象庁はこの地震を「兵庫県南部地震」と名付け、その後、今後の復旧に統一的な名称が必要であるという観点から、「阪神・淡路大震災」と呼称することが同年2月14日に閣議了解された。

阪神・淡路大震災により、神戸市を中心とする阪神地域及び淡路島北部で甚大な被害が発生した。特に、我が国における社会経済的な諸機能が高度に集積する都市を直撃した大型の直下型地震であり、震災後の各種の応急活動を迅速かつ的確に実施する責任を有する行政機関なども自らが被災するとともに、応急・復旧活動に必要な交通路、港湾施設などのインフラ施設などへも甚大な被害がもたらされた。

人的被害は、死者5,500余名、負傷者4万1,500余名という戦後最悪の極めて深刻な被害であり、地震発生直後から火災が各地域で同時多発的に発生した。また、瀬戸内海沿岸の地域を中心に大規模な地盤の液



震災で燃上がる神戸市街地
(提供：毎日新聞社)



多数の亀裂が入った阪神基地隊の岸壁
(提供：朝雲新聞社)

状化が発生し、平坦地においては地盤沈下、沿岸地域では地盤の水平移動に伴う港湾の被害、水道管などのライフラインなどの埋設物にも大きな被害が発生した。特に神戸ポートアイランド・六甲アイランドを含む臨海の埋立地では、広範囲にわたって20～50cmの地盤沈下も生じた。

国土庁の推計によれば、阪神・淡路大震災による建物等の被害は約6兆3,000億円、交通基盤施設の被害は約2兆2,000億円、ライフライン施設被害は約6,000億円、その他の被害は約5,000億円で、被害総額は約9兆6,000億円であった。

● 自衛隊施設等の被害状況

阪神・淡路大震災は、京阪神地区に所在する自衛隊施設にも甚大な被害を与え、陸上自衛隊の9ヶ所（桂、宇治、川西、千僧、伊丹、豊中、兵庫地連、大久保、善通寺）の駐屯地等及び海上自衛隊阪神基地隊においても建物の壁の亀裂、ガラスの破損、断水、漏水等の被害が発生した。特に、海上自衛隊阪神基地隊では敷地全般にわたり、地盤の液状化現象による地盤沈下、護岸及び道路の一部が1～2m沈下、屋内プールでは亀裂により水が抜けるなど壊滅的な被害を受けた。

また、大阪防衛施設局が所在する大阪合同庁舎第2号館においても多数の窓ガラスの破損、天井・壁・柱のクラックの発生等の被害が生じた。

● 防衛施設庁をはじめとする被害復旧への取組

防衛施設庁は、阪神・淡路大震災の発生直後から大阪防衛施設局の関係職員などが一丸となり、睡眠時間がほとんどとれないという極限状態で、護岸工事、屋内プール、隊庁舎、燃料施設等の自衛隊施設の被害復旧のための業務に全力を挙げた。

震災発生直後の初動対応として、大阪防衛施設局の施設部、事業部及び建設部は中部方面総監部に対し自衛隊の災害派遣部隊に対する支援基地候補地に関する情報提供等を行うとともに、同局は、大阪地方連絡部に対し復旧作業を行うボランティアの学生輸送のために、マイクロバス及びドライバーを提供した。

同局は、復旧業務により効果的に取り組むため、平成7年3月6日、阪神基地隊との間で、「阪神基地隊災害復旧プロジェクトチーム（チーム長：大阪防衛施設局建設部建設企画課長）」を発足させた。

同チームは、大阪防衛施設局建設部及び施設部並びに阪神基地隊の職員で構成され、事務局は大阪防衛施設局建設部建設企画課に置かれた。

同チームでは月1～2回会議を行い、被害復旧のための測量、ボーリング調査等の現況調査、計画立案、財産管理、地元関係等の問題点の把握、所要予算額及び所要工期の算定、全体復旧計画の作成、施設配置計画の作成等について討議・検討を行った。

これらの成果として、震災直後の都市機能が完全に麻痺した状態の中、短期間で復旧工事を行うことが可能となった。

このような防衛施設庁の努力による自衛隊施設の被害復旧もあり、自衛隊による阪神・淡路大震災に係る災害派遣も順調に行われることとなった。その後、平成10年1月には上記の自衛隊関係施設の機能はおおむね復旧した。



復旧中の阪神基地隊の体育館・プール・厚生施設
(提供：朝雲新聞社)



復旧中の阪神基地隊の隊庁舎
(提供：朝雲新聞社)